

社会科 夏休みの「自由課題」について

夏休みは、時間をかけた課題学習ができる期間です。たくさんの人が社会科の「自由研究」を行ってくれることを期待しています。

1、下記の「すすめ方」を参考に、レポート形式にまとめたもの

昨年の優秀テーマ例：「みんなでパラスポーツ」「ゴッホのルーツ」「私たちが普段使っているお金の歴史」「南総里見八犬伝について」「防災対策としての水の重要性」「明治維新とは何だろう」「千葉の武将 千葉常胤」「太平洋戦争を見て考える」「世界遺産」

社会科自由研究のすすめ方

(令和7年度版 小学校高学年・中学生用)

第35回 船橋市児童生徒社会科作品展 (予定)
日時：令和7年10月25日(土)・26日(日)
会場：船橋市総合教育センター

目指せ！社会科作品展

1 きっかけを探そう

自由研究の第一歩は「きっかけ」です。自分の好きなことや、身近なこと、最近話題になっていることなど、少しでも興味を持ったことから、「なぜ?」「どうして?」と、知りたい気持ちが大きくなっていきます。

(参考)「オリンピックはどのように始まったのだろうか?」

2 テーマを決めよう

自由研究をすすめる上で、一番大切なことが、テーマの決定です。何について調べ、まとめていくか、具体的に考えていきます。調べようとしていることについて、様々な方向から切り口を見つけてみましょう。

(参考) 5W1Hで切り口を見つける

「オリンピックは・・・」

- ① who (誰が) 「誰がでるの?」
- ② what (何を) 「競技は何をするの?」
- ③ when (いつ) 「いつから始まったの?」
- ④ where (どこで) 「どこで行われたの?」
- ⑤ why (どんな目的で) 「オリンピックの目的は?」
- ⑥ how (どのように) 「どのように行われるの?」

3 計画を立てよう

何事も計画が肝心です。興味や関心がある人は学習や旅行など他の予定と調整して、無理なく、満足できる作品に仕上がるよう、前もって計画を立てましょう。

(参考) 計画を立てるのに必要なこと

- ① テーマに関する本などを調べる
- ② 調べ方(本、現地調査、インタビューなど)を考える
- ③ まとめ方(レポート、新聞、模型など)を決める
- ④ スケジュール(調査する日、まとめる日など)を立てる
- ⑤ 必要な道具(スケッチブック、模造紙など)を準備する

4 調べよう

計画で立てた調べ方に沿って、調べましょう。

(参考) 現地調査について

- ① 歩く：安全に十分気をつけて、住民の方への迷惑にならない
- ② 見る：メモや写真などで記録する
- ③ 聞く：教えていただける人を探し、直接か電話などで聞く

※事前に相手の予定を確認しましょう。お礼を忘れずに。

5 まとめよう

工夫してまとめることがポイントです。時間をかけて調べたことや考えたことをはっきりと分かりやすく伝えるようにすることで、優れたまとめになります。

(参考) まとめ方の例

レポート・論文形式	まとめ方(付属品)の例
丁寧に、分かりやすく工夫をしてまとめよう 表紙に、「作品名」「学校名」「学年」「氏名」を書こう <動機> ・調べようと思ったきっかけや理由 <目的> ・何を調べようとしたのか ・はっきりさせたいことは何か <調べ方> ・どのような方法で調べてきたのか ・工夫したところはどこか ・仮説(結果の予想) <結果> ・調べた結果を文章や表、グラフなどで表す <考察> ・調べた中で、自分が考えたこと ・結果から考えられること ・今後の課題 <感想> ・まとめが終わった感想 ・取り組みの反省	・ノート ・ファイル(ルーズリーフ) ・スケッチブック ・地図 ・イラストマップ ・新聞 ・年表 ・紙芝居 ・アルバム ・巻物 ・かるた ・クイズ ・立体地図 ・模型 など

6 保護者の皆様へ

お子様やご家族にとりまして、実り多き自由研究となりますよう、いくつか留意していただきたい点をお伝えいたします。

船橋市児童生徒社会科作品展には、校内審査によって特に優れた作品と認められたものが、学校代表として出品され展示されます。

昨年度から保護者の同意書は廃止しました。出品カード(見本参照)の提出で、保護者の同意といたします。出品カードは、原則保護者または児童生徒が記入するものとします。作品展に出品が決まった児童生徒に9月初旬に学校から配付します。

市の作品展に出品が決まった場合、搬出日まで作品は返却できませんので、事前に概要や作品のタイトル等を保護者保管用に記録しておいていただくと、記入の間違いがなくなりますので、ぜひご活用ください。

作品は、社会科学学習に基礎をおいたもの(小学校1・2年生は、生活科学学習に基礎をおいたもの)で、普段の授業や課外活動を基にした発展学習、休業日の自主的研究等で作られたものとします。複数の児童生徒による共同作品でも構いません。作品形態の制限はありません。ただし、サイズの大きいものは、展示会場の関係で部分展示等の対応をさせていただく場合もあります。また、電子ファイルや映像等による作品、実物資料等で壊れやすいもの、保管が困難なもの等は、現物に替わる方法(写真等)を検討させていただきます。

生成AIの扱いについて、文部科学省が策定している「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン」に準拠して使用してください。ガイドラインが改訂された場合は、その改訂版に準拠してください。

研究を進めるにあたり、家の外での活動もあるかと思いますが、事故等を防ぐため、調査活動中におけるお子様への安全配慮をお願いするとともに、夏季休業中の活動になりますので、体調にも十分お気を付けください。

お問合せ先 船橋市総合教育センター研究研修係

047(423)4910 平日9時～17時

2、税についての作文：指定の原稿用紙(400字詰め)3枚以内。内容が税に関することであれば、題材は自由です。この課題を選択する人は、原稿用紙とリーフレットを、学年の社会科担当の先生から受け取ってください。

※9月1日に教科リーダーが集めて、各学年の社会科の先生に提出してください。レポートは校内審査後に優秀作品を市の作品展に出品し、税の作文は全てを納税組合に提出します。提出期限を厳守してください。

☞提出期限を過ぎたら、受け取れない(市や納税組合等に提出できない)場合があります。